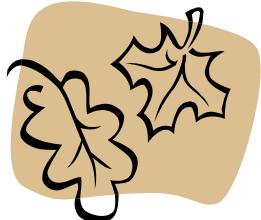


進路便り

令和7年11月25日
進路指導部No.6
都立港特別支援学校長 岡戸 良雄
発行 進路指導部



朝夕の冷え込みが一段と厳しくなり、冬の訪れを感じる季節となりました。生徒たちは、普通科・職能開発科ともに現場実習を通して多くの経験を積み、それが自分の課題や目標を見つめ直す貴重な機会となりました。今後もこの経験を生かし、進路実現に向けて一歩ずつ取り組んでいってほしいと思います。

本号では、職能開発科1年の就業体験、普通科2・3年の現場実習、普通科1年の職場見学の様子をお伝えします。

■職能開発科 1年生就業体験

職能開発科1年生は、①自分を知る②社会を知る③会社を知る、の3つの『知る』をテーマに学習を進めています。そのファーストステップとして就業体験を行っています。職場見学と作業体験を通して、世の中にはいろいろな仕事があることを知り、自分の強みと弱み（適性）を知る機会にしております。

今回はヤマト運輸株式会社とCTCひなり株式会社に協力をいただきました。ヤマト運輸株式会社では荷物の仕分け作業を体験し、CTCひなり株式会社では事務作業・清掃作業・社内カフェ作業をそれぞれ体験しました。1つの会社の中でも様々な作業をあることも知ることができました。

就業体験で情報収集したことをもとに、2月の現場実習に向けて準備を始めます。御家庭でも、お子様のやってみたい仕事や出来そうな仕事について、一緒に考えていただければ幸いです。

■普通科2年・3年 現場実習

普通科2年生は、初めて複数日(2日～5日間)の現場実習を行っています。慣れない環境や初めての経験で、緊張しながらも新しいことにチャレンジする。これにより現在の自分にとって「できた」や「難しい」を知ることを目的にしています。現場実習後は、現場実習での成果と課題を家庭と学校で共有して卒業後の生活に必要な支援を考え、卒業後の進路選択に繋げていきます。

普通科3年生は、福祉施設や企業などの現場実習を通じて、適性に合った進路の方向性が定まりつつあります。福祉施設希望の生徒は区ごとに福祉課への申請や手続きが始まり、企業希望の生徒は採用選考を控えております。進路決定に向けた大事な時期となっていきますので、御家庭でも学校からのお知らせや福祉課からの郵便物の見落としがないようにお願ひいたします。

■普通科1年 職場見学

普通科1年生は、11月12日(水)に5コースに分かれて職場見学に行きました。高等部入学後の初めての進路行事で、卒業時の進路選択、進路決定に向けた最初の一歩を踏み出しました。初めての進路行事に緊張しながらも期待感をもって参加し、事業所の雰囲気を感じたり、いろいろな作業を体験したりすることで、働くことの理解や意欲につながる見学となりました。また、見学を通じて卒業後の社会人生活では、挨拶や時間の管理が大切であることを改めて確認することができました。今回の見学での学びをこれから日々の学校生活や家庭生活で生かし、力を付けていってほしいと考えます。

3学期の2月に、2回目の職場見学を予定しています。2年生での職場体験や現場実習に向け、自分の希望や進路を考える機会となるよう支援してまいります。